

2 地域の概況

2-1 地勢・地理

(1) 留萌地域の位置

当地域(留萌振興局管内)は北海道北西の日本海沿岸に位置しており、1市6町1村の全てが海に面している南北約130km、東西約60kmの南北に長い地形である。

地域の総面積は3,445.89 km²で、北海道の総面積の4.1%を占めており、北部に天塩町及び遠別町、中部に初山別村、羽幌町及び苫前町、南部に小平町、留萌市及び増毛町が位置している。

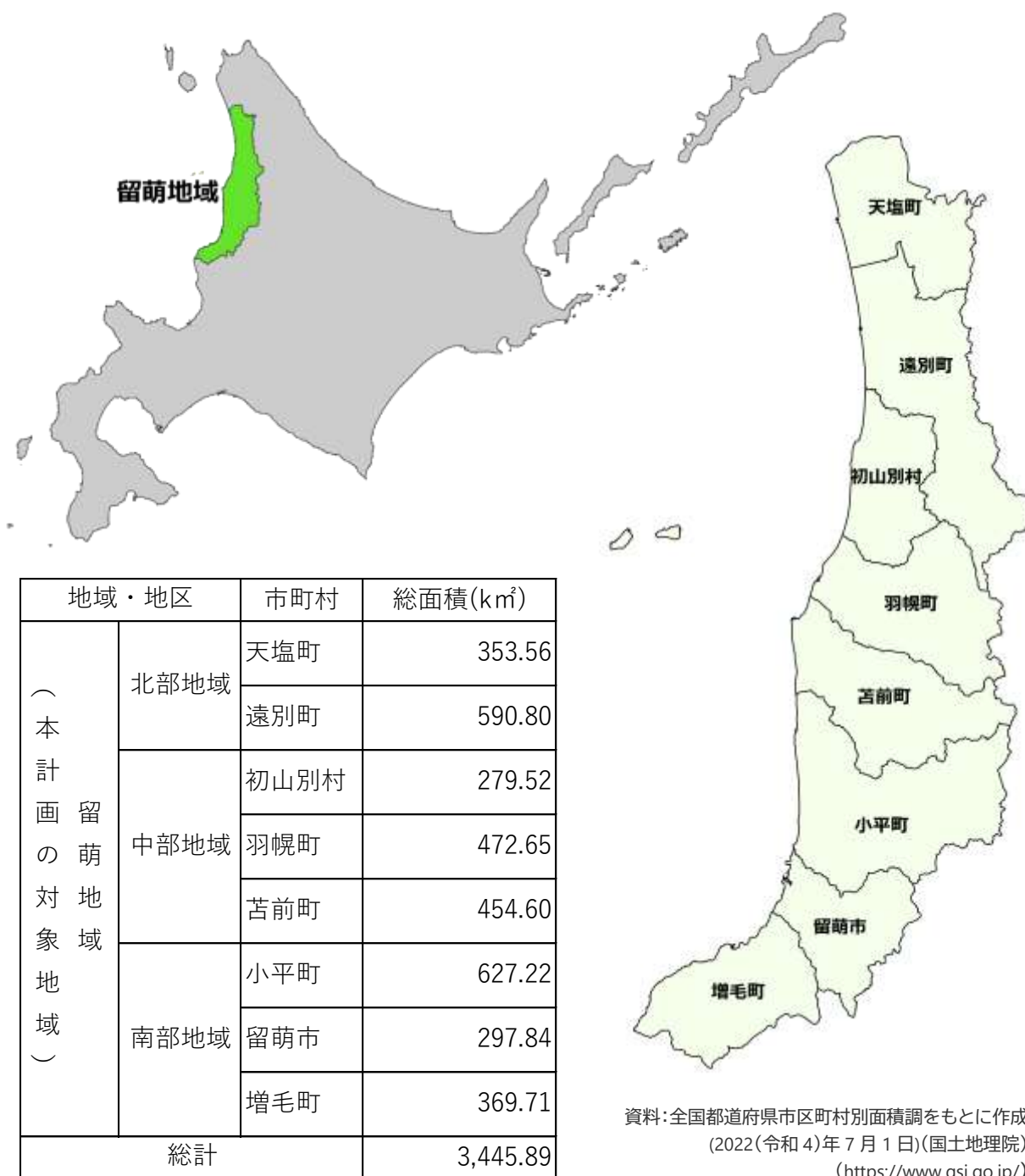
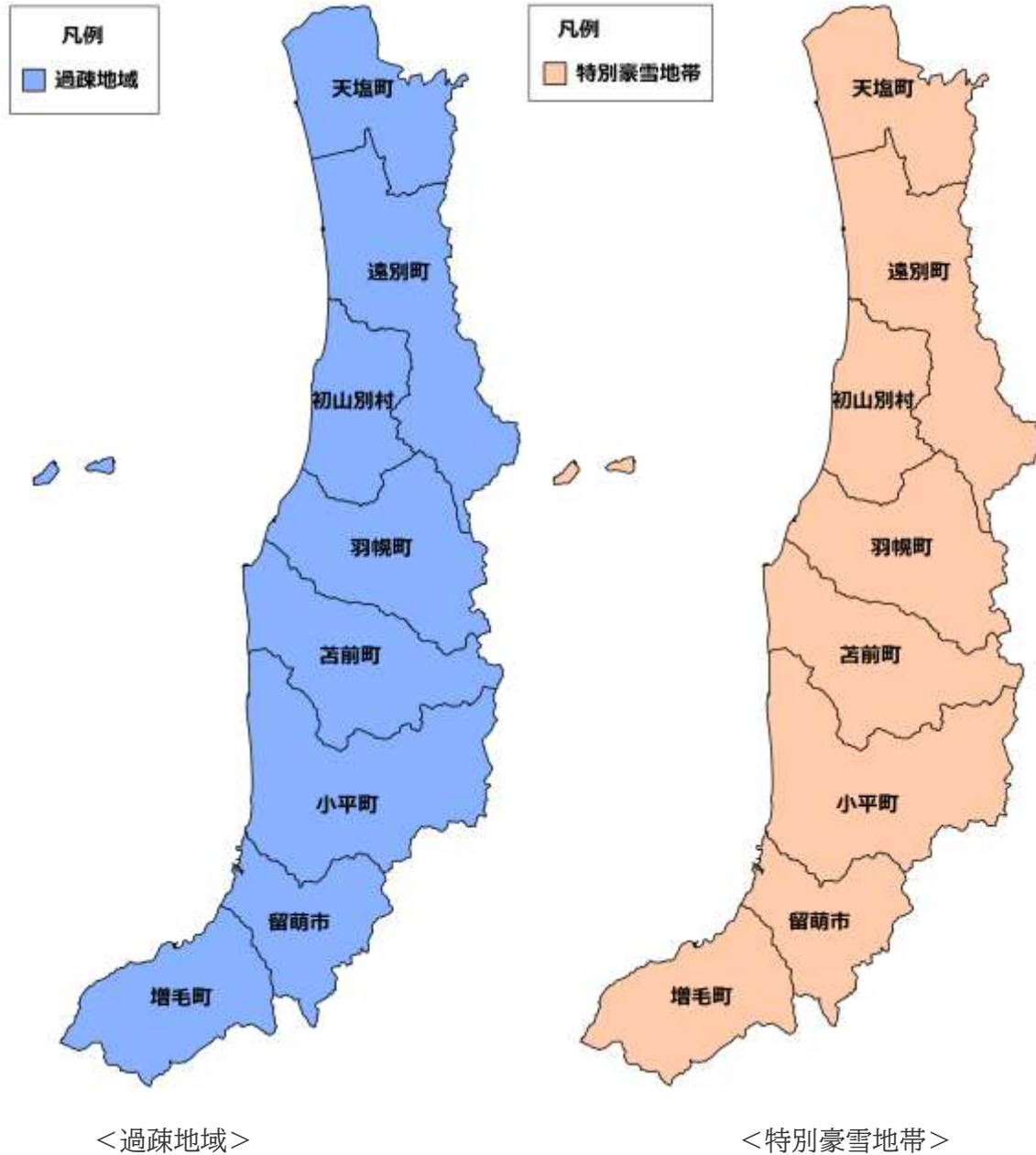


図 2-1 留萌地域・各市町村の位置

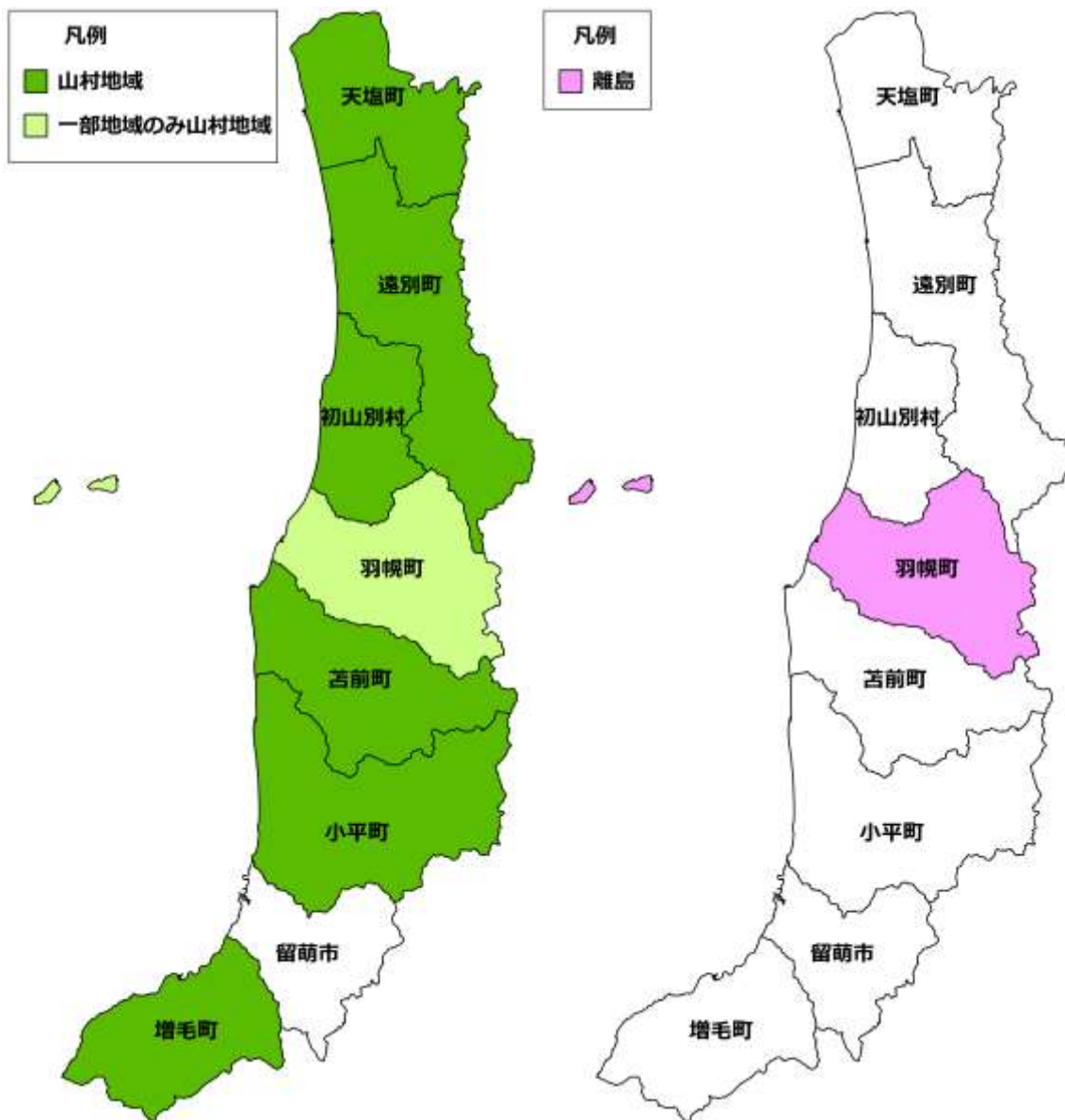
(2) 地域指定の状況

当地域は全市町村が過疎地域及び特別豪雪地帯に指定されており、増毛町、小平町、苫前町、初山別村、遠別町、天塩町は山村地域、羽幌町は一部地域のみ山村地域に指定されている。また、天売島、焼尻島を有する羽幌町は離島地域の指定を受けている。



資料：地域指定の状況(2022(令和4)年4月1日)(北海道総合政策部地域創生局地域政策課)

図 2-2 留萌地域の地域指定の状況(1/2)



<山村地域>

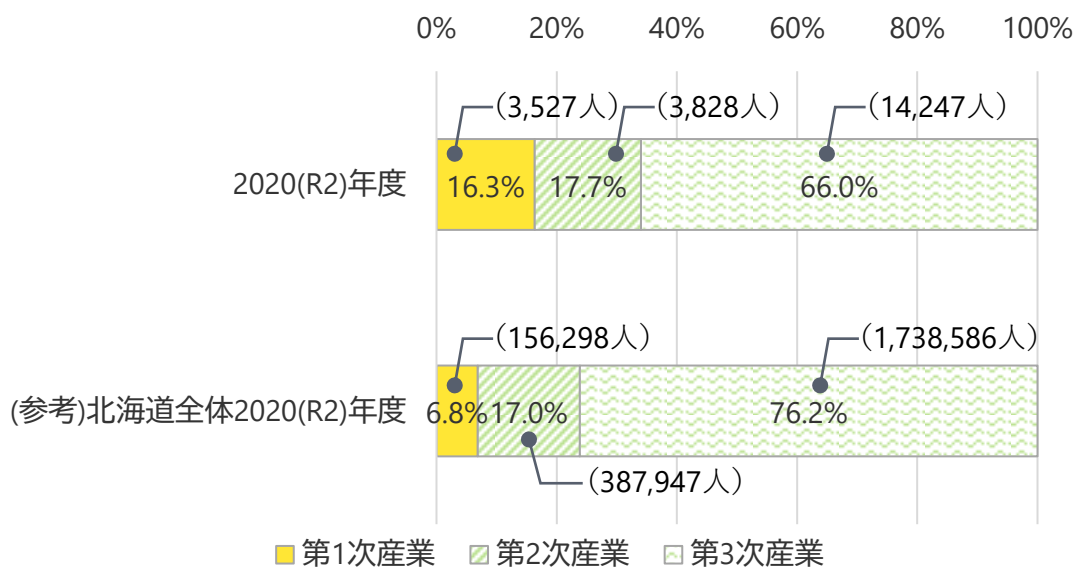
<離島地域>

資料:地域指定の状況(2022(令和4)年4月1日)(北海道総合政策部地域創生局地域政策課)

図 2-3 留萌地域の地域指定の状況(2/2)

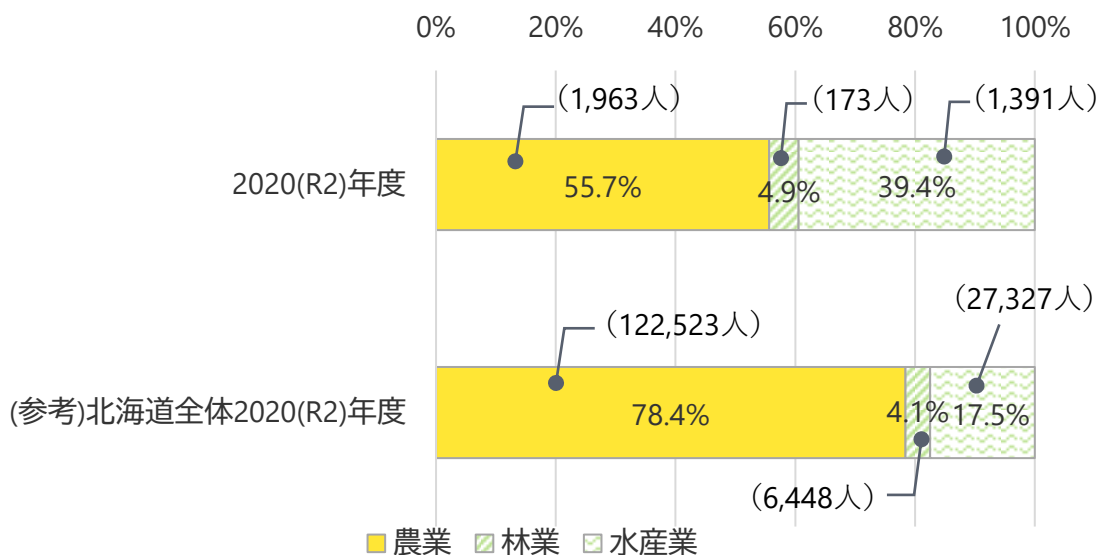
(3) 産業構造

当地域では北海道全体と比較し、第1次産業(農林水産業)の従事者が多く、第1次産業の中でも農業、水産業が基幹産業である。農業では産出額 179.6 億円のうち、乳用牛、肉用牛で約6割を占めており、水産業は出荷額 67.1 億円のうち、さけ、ほたて貝、えび類が約 2 割ずつとなっている。



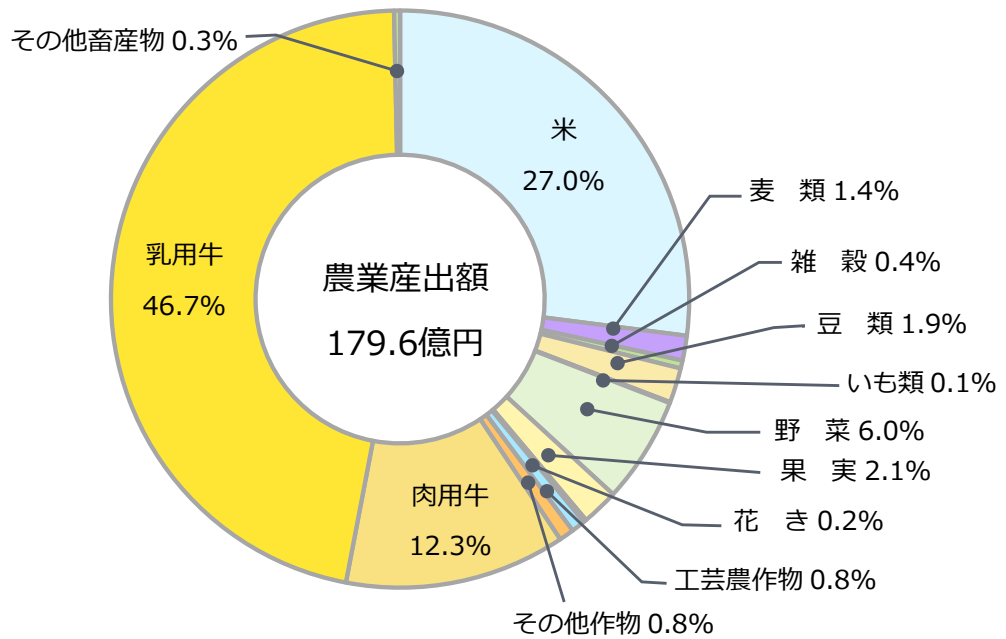
資料:国勢調査(2020(令和2)年度)
(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)

図 2-4 産業別就業者数



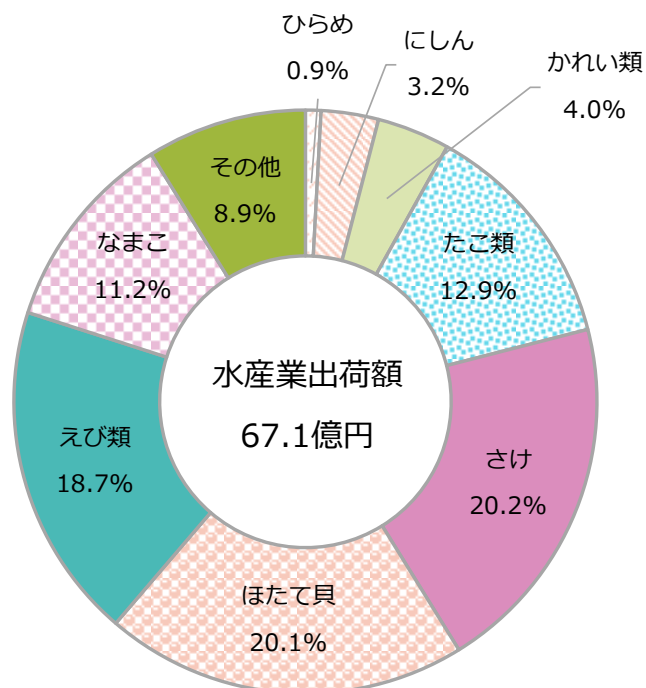
資料:国勢調査(2020(令和2)年度)をもとに作成
(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)

図 2-5 第1次産業従事者数の内訳



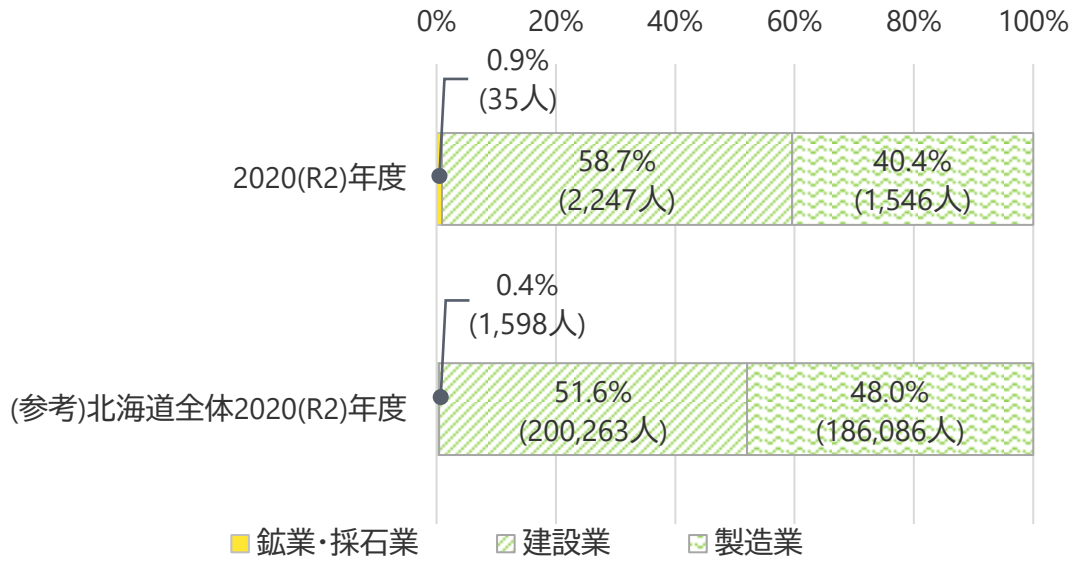
資料:市町村別農業産出額(推計)(2020(令和2)年)(農林水産省)をもとに作成
(<https://www.maff.go.jp/>)

図 2-6 農業産出額の内訳



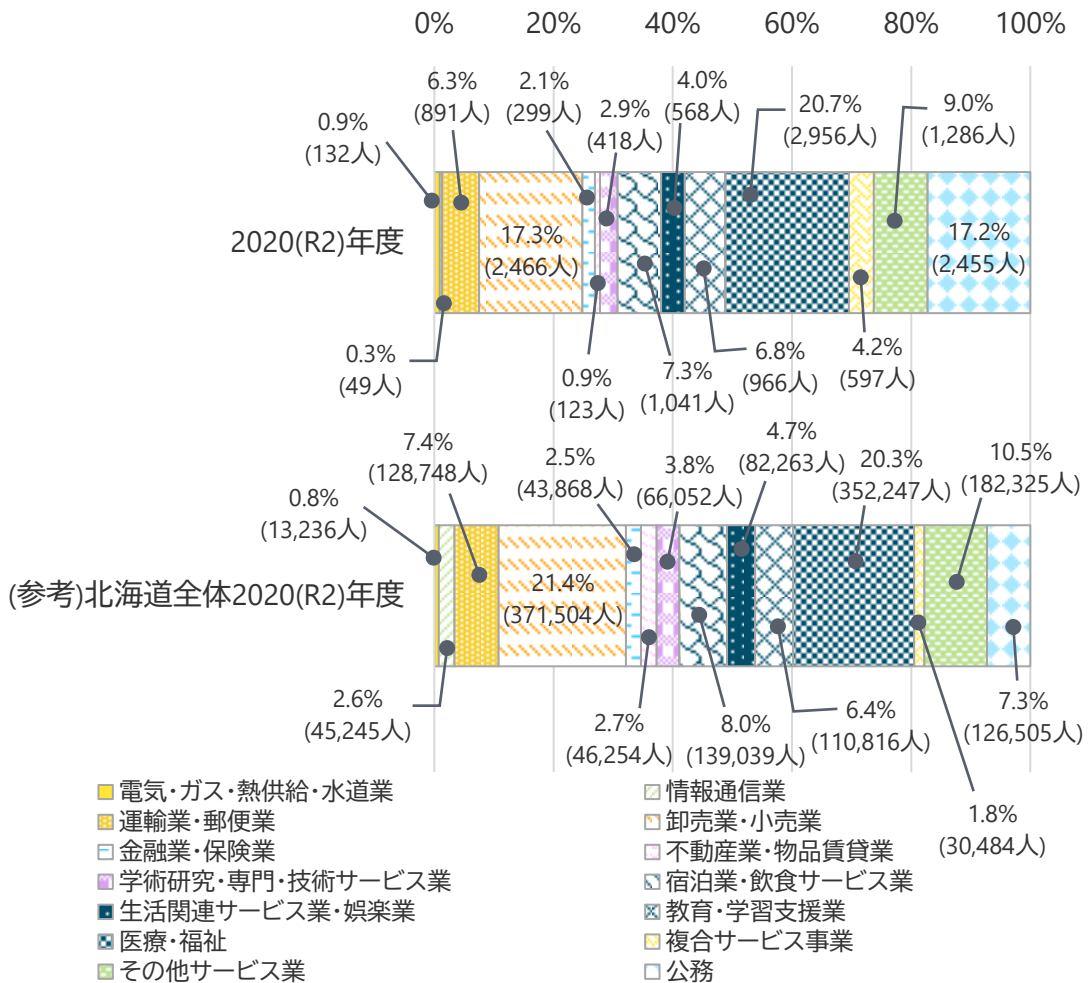
資料:北海道水産現勢(確報)(2021(令和3)年)(北海道)をもとに作成
(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>)

図 2-7 水産業出荷額の内訳



資料:資料:国勢調査(2020(令和2)年度)をもとに作成
(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)

図 2-8 第2次産業従事者数の内訳



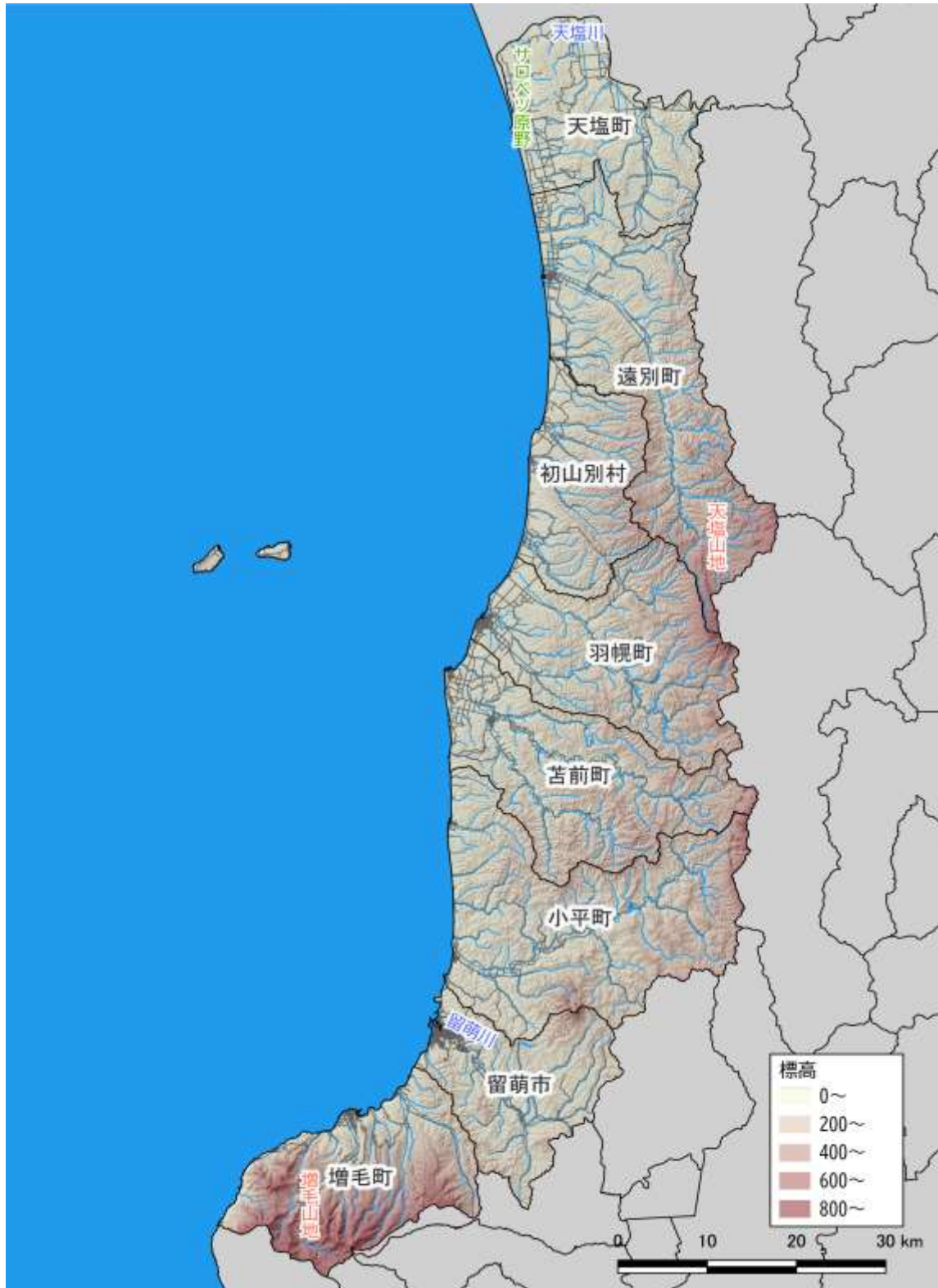
資料:国勢調査(2020(令和2)年度)をもとに作成
(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)

図 2-9 第3次産業従事者数の内訳

(4) 地形・河川

当地域は西方を日本海、南方は増毛山地、東方を天塩山地に囲まれ、北方にはサロベツ原野が広がっている。

また、道内2番目の長さの天塩川が、天塩町から日本海に注いでいる。

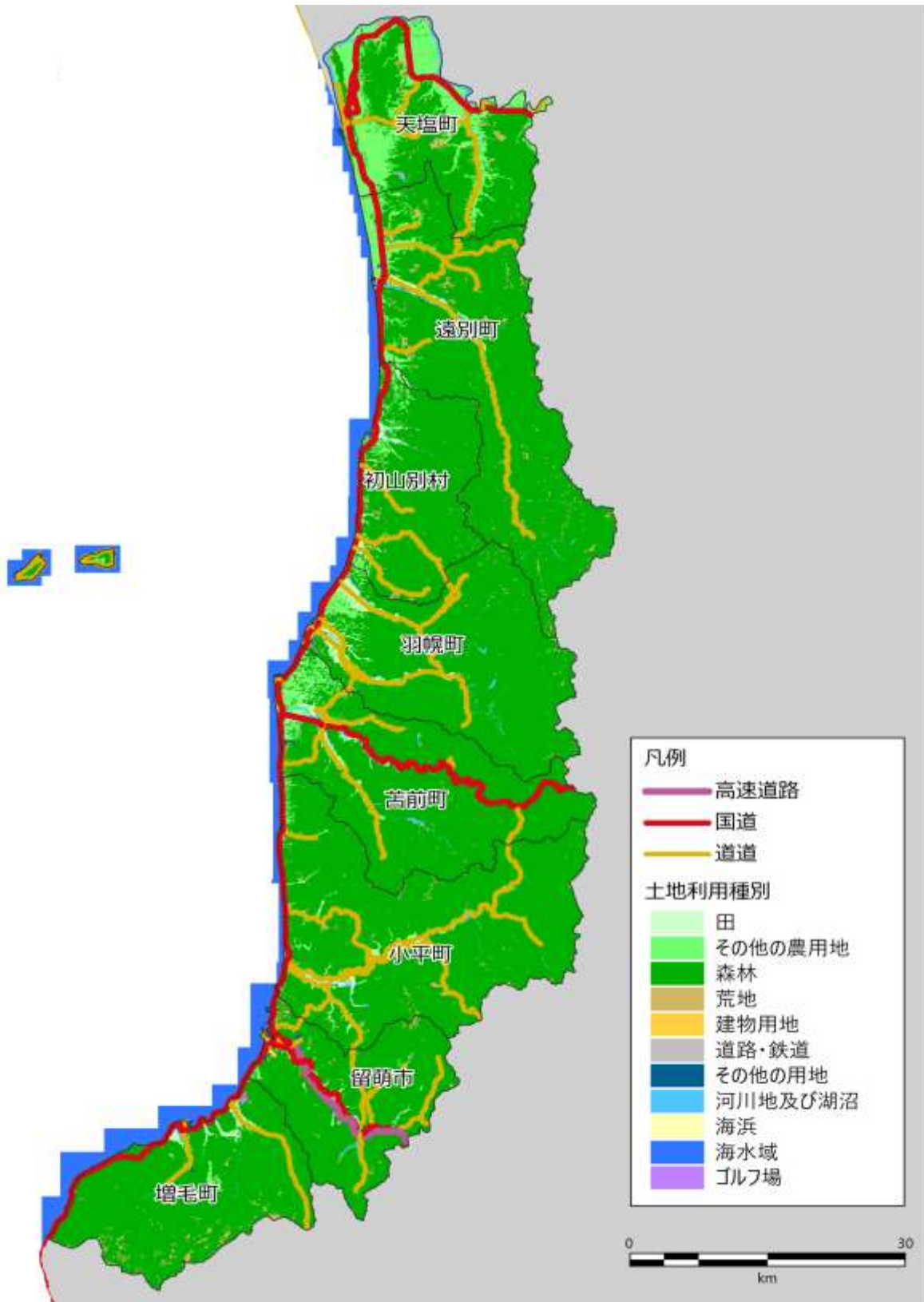


資料：基盤情報地図情報(2021(令和3年)(国土地理院)(<https://www.gsi.go.jp/>)をもとに作成

図 2-10 地形・河川

(5) 土地利用状況

当地域の大部分を森林が占め、建物用地(市街部)は留萌市に集中している。
また、苫前町から天塩町の沿岸にかけ、田やその他の農用地が広がっている。



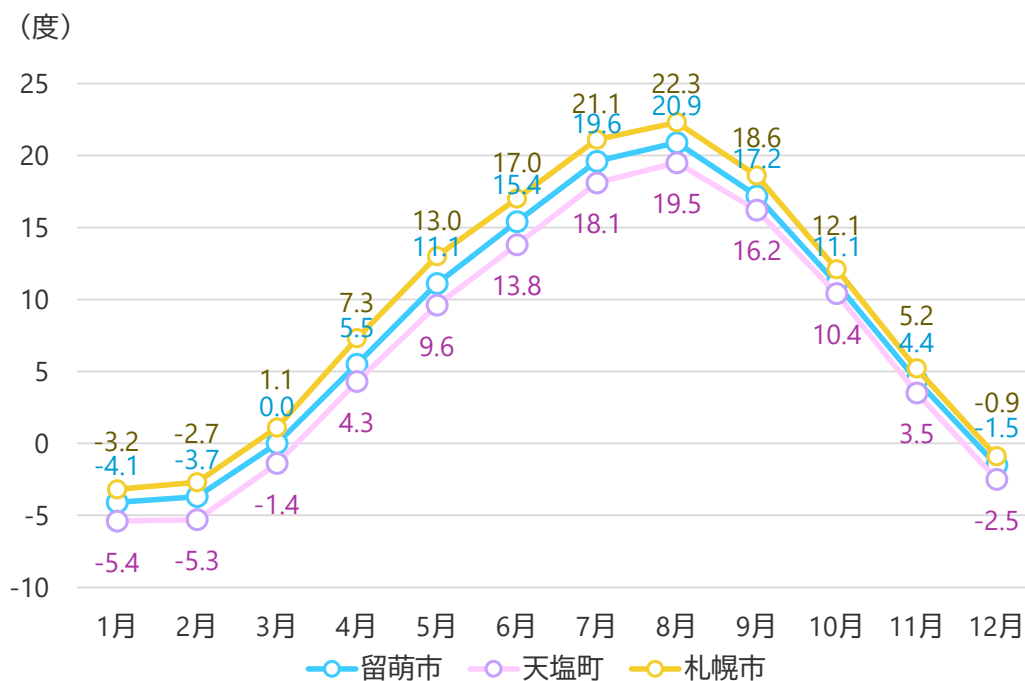
資料:国土数値情報(2021(令和3)年度)(国土交通省)(<https://nlftp.mlit.go.jp/>)をもとに作成

図 2-11 土地利用の状況

(6) 気候・気温

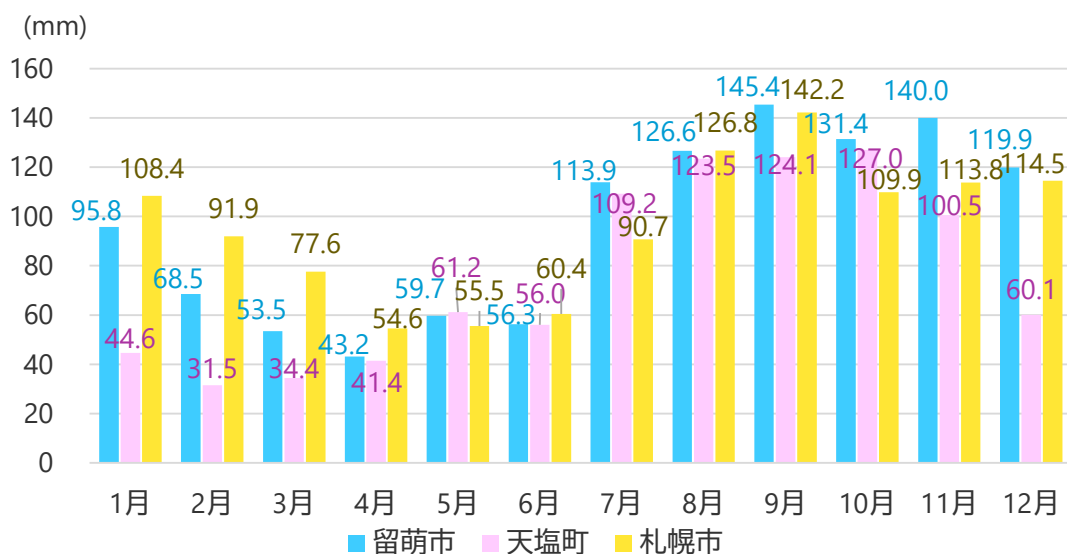
当地域は、対馬海流の影響で緯度が高いものの比較的温暖な気候であり、地域が南北に広がっていることから、北部である天塩町と南部である留萌市では通年平均で約 2.4 度の気温差が生じている。

また、1-6 月は降水量が少ない一方、7-12 月が多い。10 月下旬には初雪が降る年も多く、1 年の約半分を占める冬期間は、日本海側特有の吹き上げる風が地吹雪を起し、視界不良や吹溜りを生じさせることも多い。



資料: 気象庁(<https://www.jma.go.jp/>)をもとに作成

図 2-12 平均気温(過去 30 年間(1991(平成 3)~2020(令和 2)年)平均)



資料: 気象庁(<https://www.jma.go.jp/>)をもとに作成

図 2-13 平均月間降水量(過去 30 年間(1991(平成 3)~2020(令和 2)年)平均)

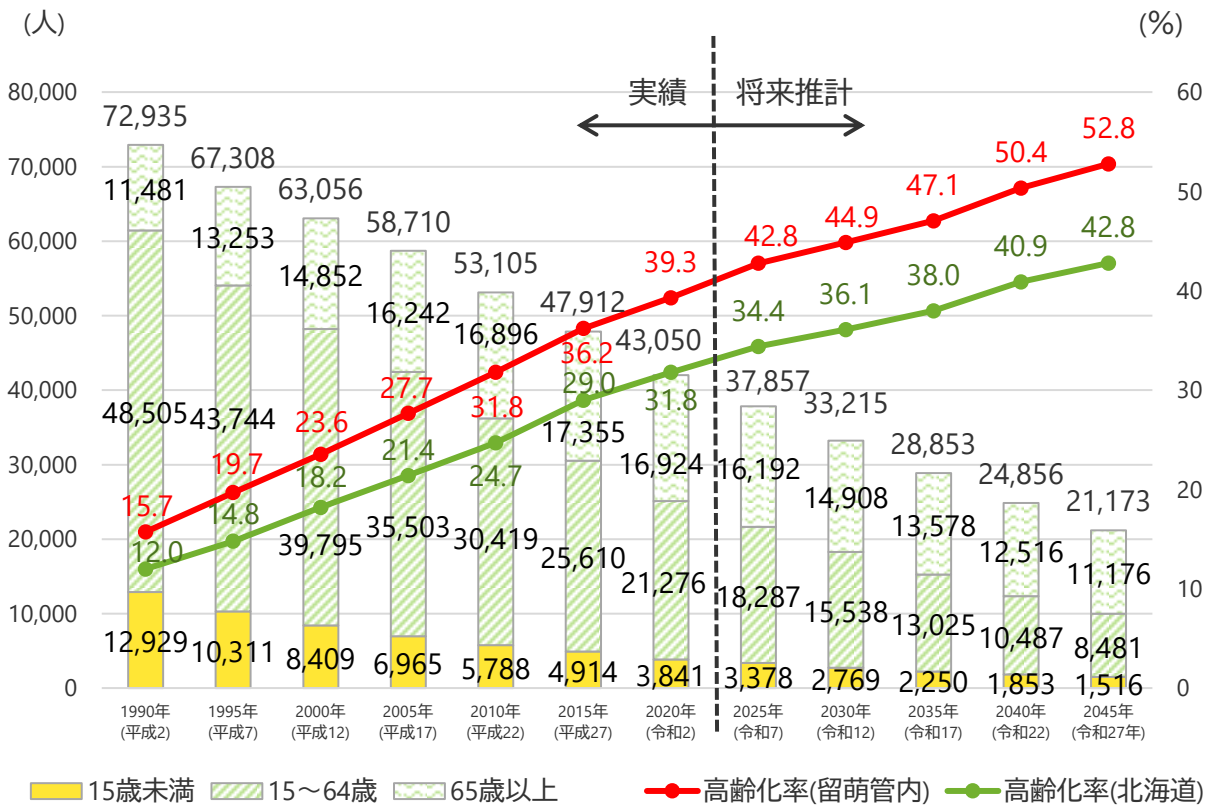
2-2 社会状況

(1) 人口動態

① 人口・高齢化率の推移

当地域内の総人口は減少傾向にあり、2020(令和 2)年時点では 43,050 人で、今後も減少が続くと予想されている。また、高齢化率は 2020(令和 2)年時点で 39.3%となっており、2045(令和 27)年には 52.8%まで上昇すると予想されている。

なお、北海道全体の高齢化率との比較では 2020(令和 2)年時点で 7.5 ポイント、2045(令和 27)年では 10.0 ポイント当地域が上回ることとなる。

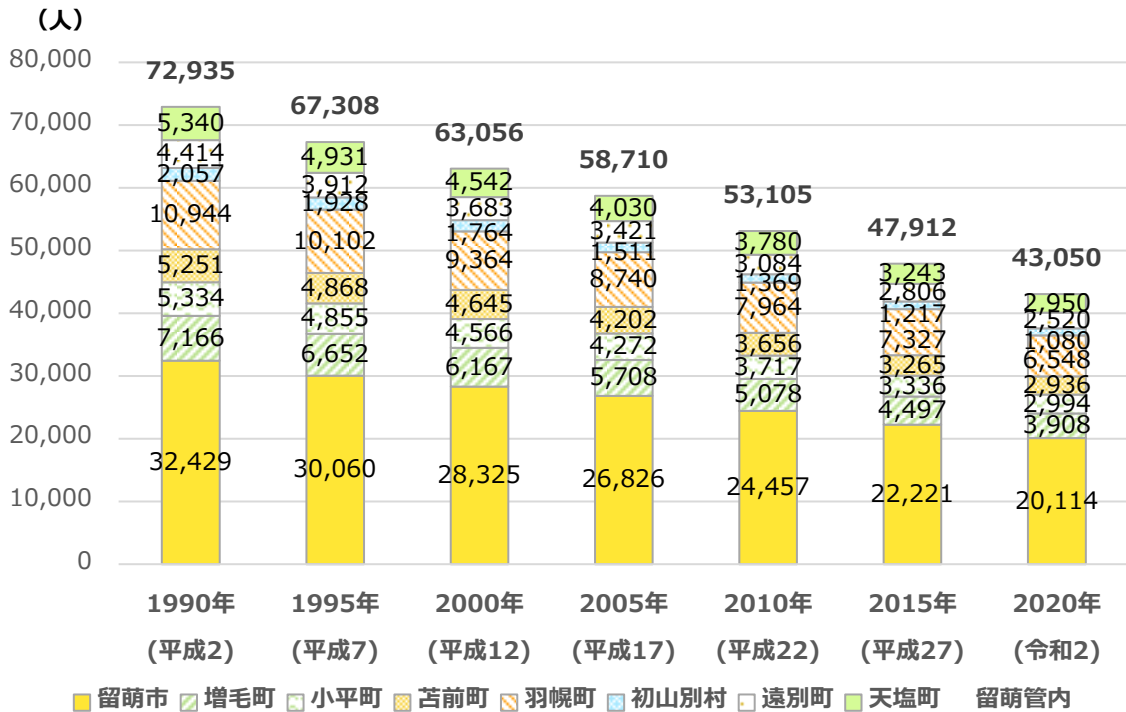


資料：国勢調査(2018(平成 30)年)(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)
 将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)(<https://www.ipss.go.jp/>)をもとに作成

図 2-14 留萌地域全体の人口推移

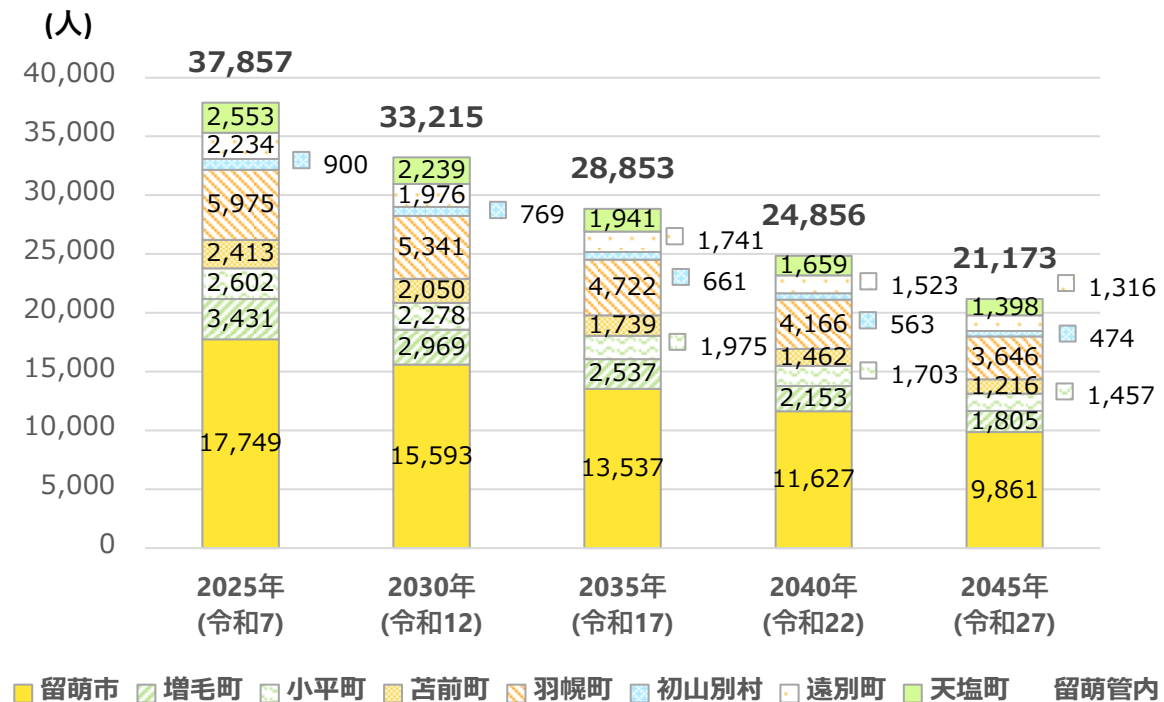
② 各市町村の人口の推移

当地域の各市町村の人口は長期的に減少傾向が続いており、1990(平成2)年に72,935人だった人口が、2020(令和2)年には43,050人と約4割減少している。また、2045(令和27年)には21,173人になると予想されており、2020(令和2)年と比較すると約5割の減少となっている。



資料:国勢調査(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)をもとに作成

図 2-15 留萌地域の人口推移

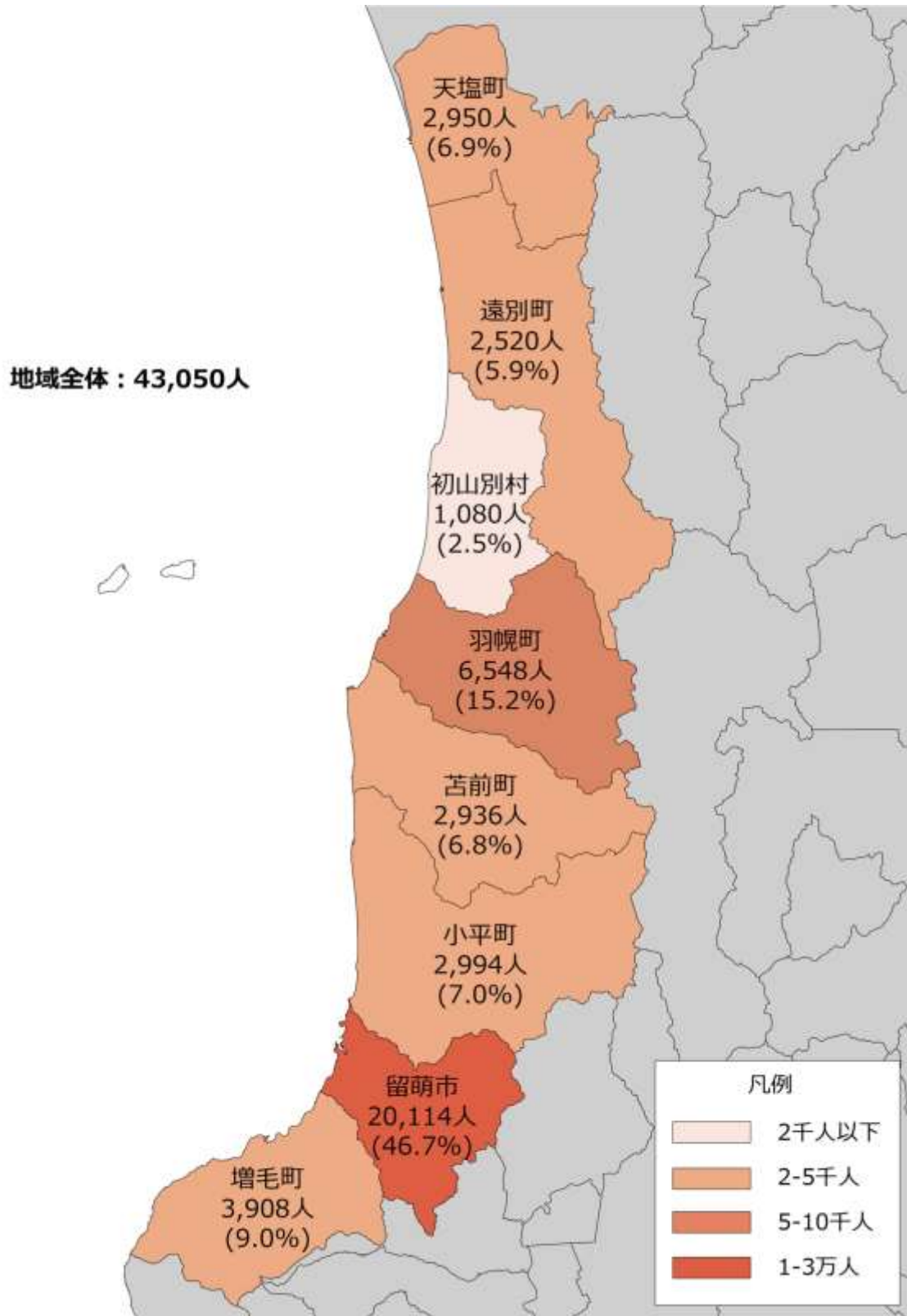


資料:将来推計人口(2018(平成30年))(国立社会保障・人口問題研究所)(<https://www.ipss.go.jp/>)をもとに作成

図 2-16 留萌地域の将来人口推移

③ 人口の分布

当地域の人口 43,050 人(2020(令和 2)年)のうち、地域中心都市である留萌市に 20,114 人(47%)、羽幌町に 6,548 人(15%)と留萌市と羽幌町に 6 割以上が集中し、他の 6 町村に約 16,000 人が広く分布している。



資料:資料:国勢調査(2020(令和 2)年度)(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)をもとに作成

図 2-17 地域・市町村毎の人口及び分布(2020(令和 2)年)

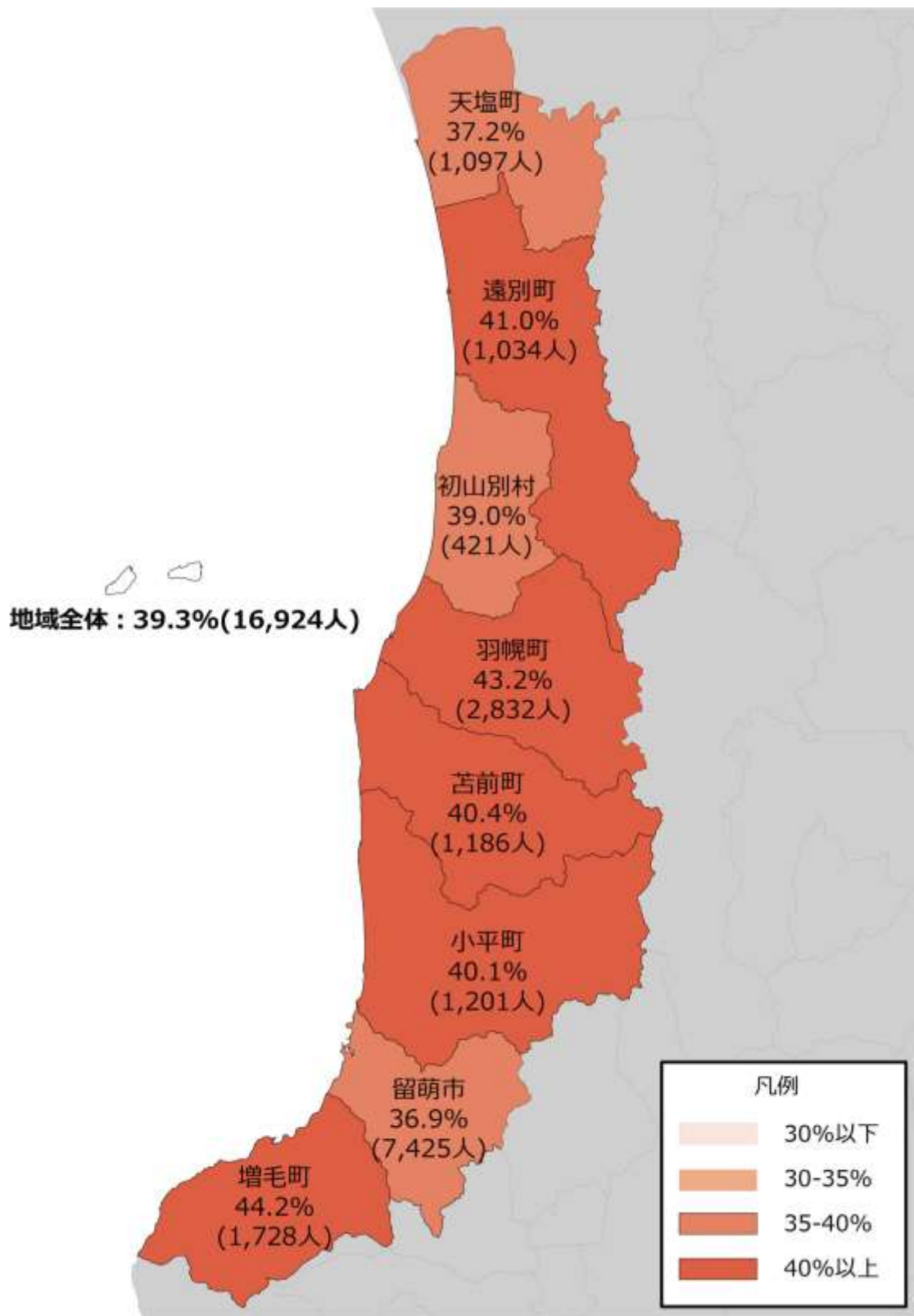
500m メッシュ毎の人口分布を見ると、地域中心都市の留萌市、羽幌町の海岸沿いに人口が密集しているエリアがあり、他の6町村も主に日本海の海岸線沿いに人口が分布している。



資料:国勢調査(2020(令和2)年度)(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)をもとに作成
図 2-18 人口分布(500m メッシュ人口)(2020(令和2)年)

④ 高齢者人口の分布

当地域の各市町村の高齢化率(65歳以上人口の割合)は、全市町村で35%を超え全道平均(31.8%)を上回っている。



資料:国勢調査(2020(令和2)年度)(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)をもとに作成
図 2-19 地域・市町村毎の高齢化率(2020(令和2)年)

500m メッシュ毎の高齢化率の分布を見ると、留萌市や羽幌町、遠別町、天塩町の沿岸部に一部高齢化率が比較的低いエリアが見られる。その他では高齢化率が40%以上のエリアが多く、山間部にも高齢化率が高いエリアが散見される。



資料：国勢調査(2020(令和2)年度)(総務省統計局)(<https://www.stat.go.jp/>)をもとに作成
図 2-20 高齢化率の分布(500m メッシュ人口(2020(令和2)年))